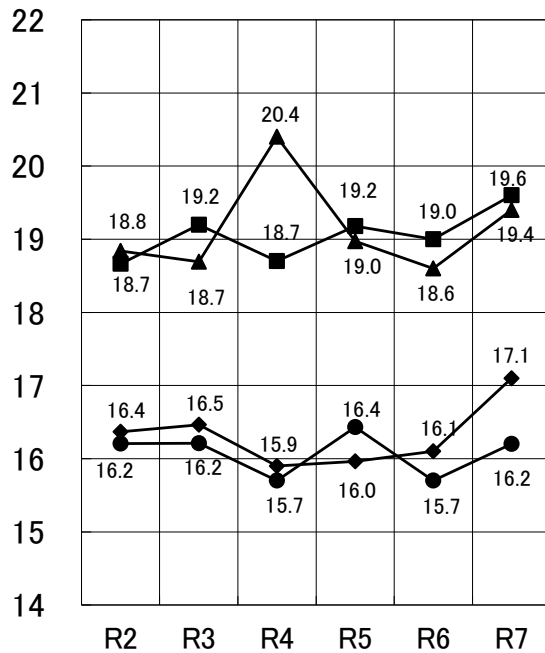


新体力テスト 郡平均の推移

◆ 5 学年男 ● 5 学年女 ▲ 6 学年男 ■ 6 学年女

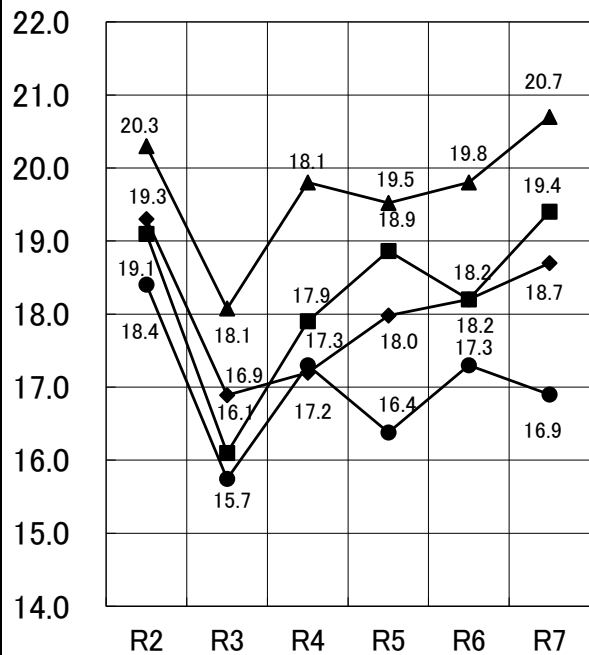
握 力

(kg)



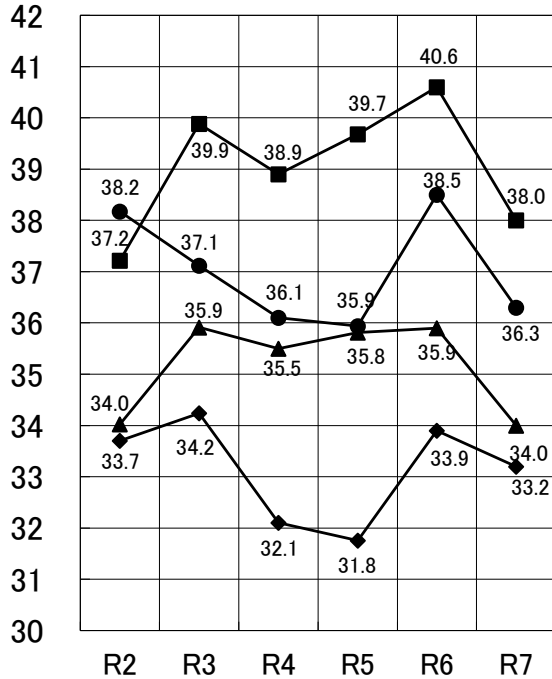
上体起こし

(回)



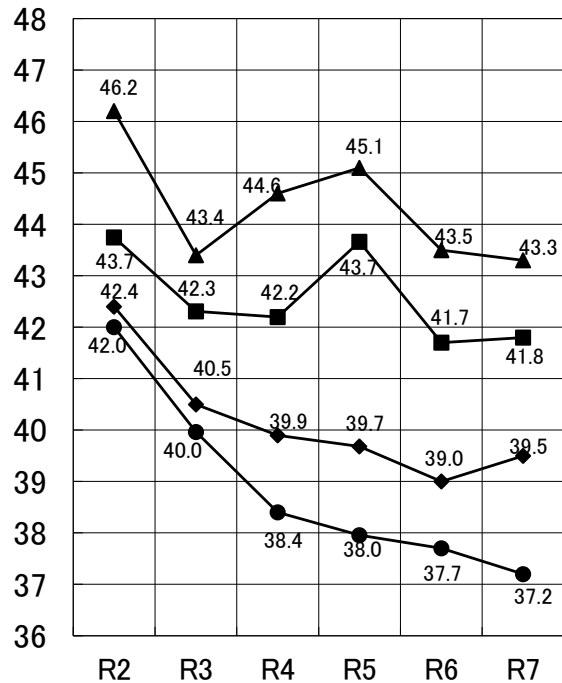
長座体前屈

(cm)



反復横とび

(点)

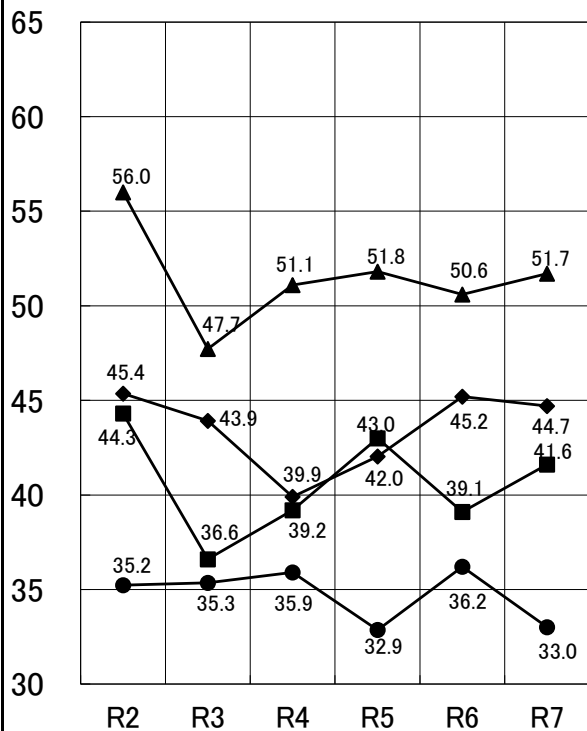


新体力テスト 郡平均の推移

◆ 5 学年男 ● 5 学年女 ▲ 6 学年男 ■ 6 学年女

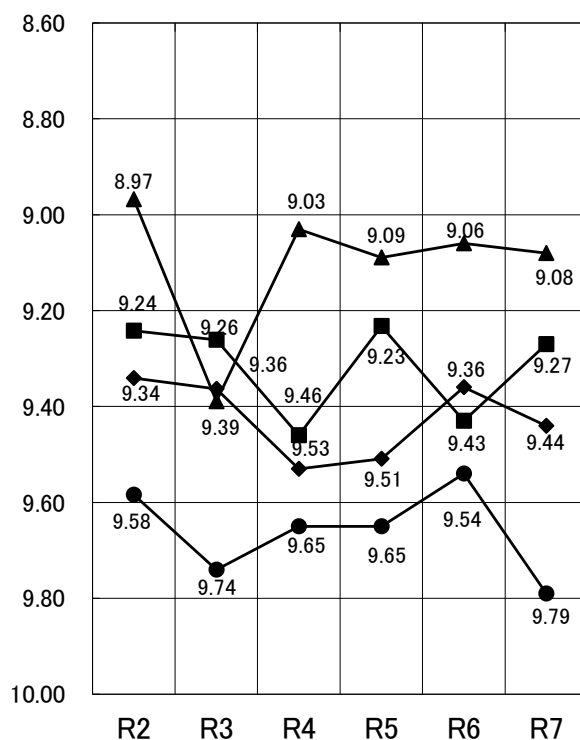
20mシャトルラン

(回)



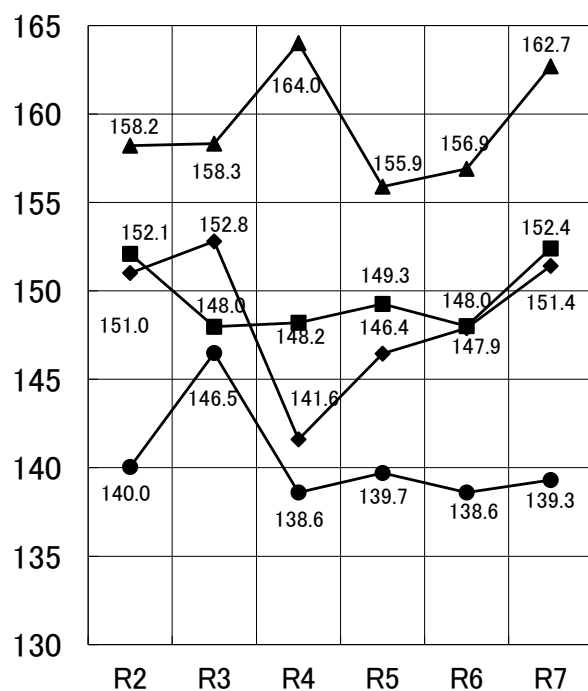
50m走

(秒)



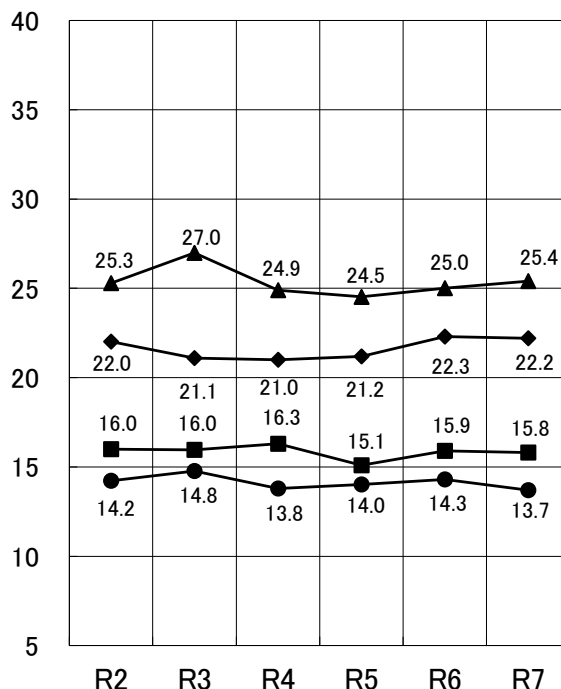
立ち幅とび

(cm)



ソフトボール投げ

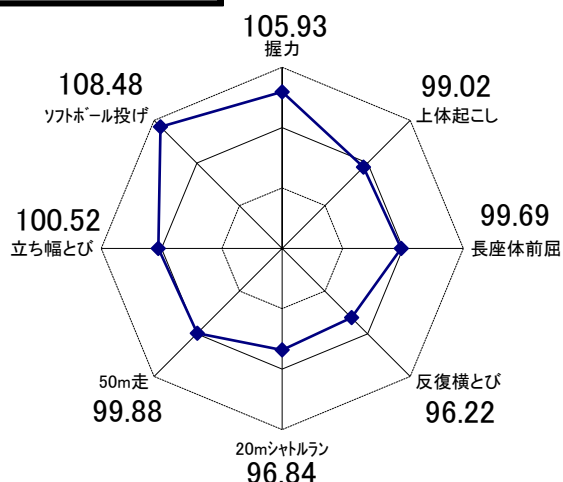
(m)



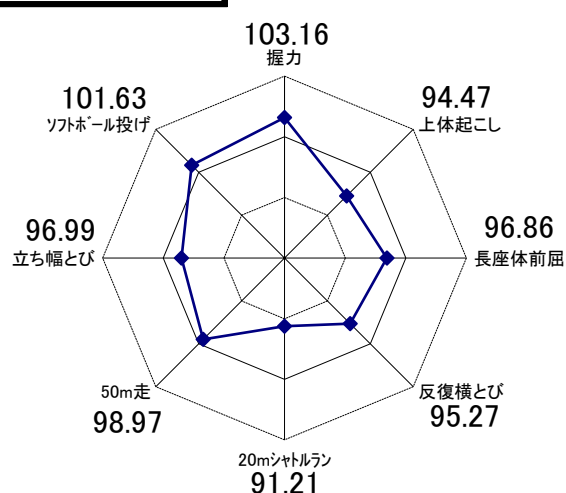
新体力テスト 県平均との比較と考察

- ・グラフ中の数字は県のデータを100とした時の指数を表す。
- ・計算式は、(郡平均) ÷ (県平均) × 100である。(県平均は令和6年度)
- ・ただし、50m走については、 $200 - (郡平均) \div (県平均) \times 100$ で計算する。
- ・どの種目も指数が大きいほど能力が優れていることとなる。

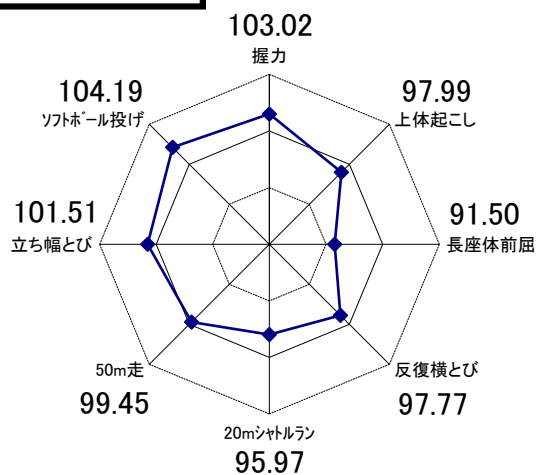
5 学年男子



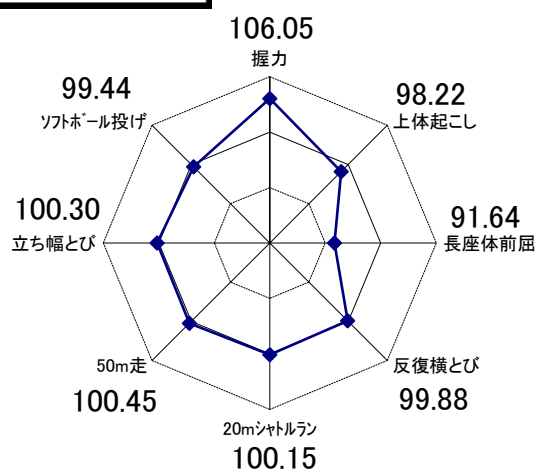
5 学年女子



6 学年男子



6 学年女子



【結果と考察】

◇県平均と郡平均との比較より

- ・5学年男子は、県平均レベルの運動能力に達していると考えられます。
- ・5学年女子は「シャトルラン」、6学年男女においては、「長座体前屈」が県平均を大きく下回りました。その他の種目は、県平均レベルの運動能力に近づいてきたと考えられます。

◇郡平均の推移より

- ・学年ごとにばらつきはあるものの、「握力」「上体起こし」「立ち幅跳び」はコロナ前の水準に戻りつつあります。「反復横とび」においては、下降が続いています。

以上のことから、今後は「全身持久力」「敏捷性」「柔軟性」を高める運動に力を入れていく必要があると考えます。